



る う て る

2014年
5月
No.804

●発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

●振替口座■ 00190-7-71734
●ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
●E-mail■ jelc@jelc.or.jp
●発行人■ 徳野昌博 mtokuno@jelc.or.jp
●印刷■ 精文堂印刷株式会社
●定価■ 1部 40円 (郵税を含む)

説教

「遅れてきた夜明け」

室園教会牧師 西川 晶子

「十二人の一人でディレイモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言う。トマスは言った。『あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない』ヨハネによる福音書20章25節

十二弟子のひとりトマス「見ないのに信じる人々は幸いだ(29節)とあるように、来事から、「疑いのトマス」という不名誉な称号で呼ばれることがあります。しかし、中学校の授業などで弟子の話をするとき、このトマスは人気のある一人です。心身ともに多感な成長期を迎えている彼ら、彼女らにとって、このトマスの「疑い」は非常に共感しやすく、「疑ってもよいのだ」と安心できるでしょう。実際、このトマスは、後にイエス様の彼に対する言葉の中に

「見ないのに信じる人々は幸いだ」…これは逆に、見えないもの、見たことがないものを信じるのがどんなに難しいことを表しています。ましてや、トマスは自分一人だけ、主イエスの復活に居合わせる事ができなかったのです。

「見ないのに信じる人々は幸いだ」…これは逆に、見えないもの、見たことがないものを信じるのがどんなに難しいことを表しています。ましてや、トマスは自分一人だけ、主イエスの復活に居合わせる事ができなかったのです。このトマスはもともとかなり熱心な弟子であり、十字架の前から逃げ去った



自分自身への後悔から、仲間と合流できずにいたのかもしれない。

するとその間に、自分以外の弟子たちに、復活の主が現れた。他の弟子たちは「俺たちは主を見たぞ」と喜び、盛り上がりつつある。

「イエス様の手の釘跡とわき腹の傷を見、そこに触れてみなければ、わたしは決して信じない」…この言葉からは、トマスの懐疑と共に、信じる輪の中に入るの喜びから自分だけが弾き出されたトマスの強い孤独も感じられます。

しかし、そこに再び現れた復活の主イエスは、他の弟子たちと共にいる中を、トマスただひとりに向かつて語りかけられます。「手を伸ばして、あなたが言っていたとおり、私の釘跡、わき腹の傷に触れてみなさい」という主の言葉には、このときだけでなく、トマスが復活の主に出会う前、他の弟子たちから取り

残されたように感じていたとき、しかしその彼の言葉が確かに主イエスに届いていたことを示します。トマス自身が誰からも見捨てられ、暗闇の中にいるように感じていたときですら、主は確かにトマスを心に留めてくださったのでした。

遅れてきたトマスの復活体験は、そのできごとを聞く私たちを慰めてくれます。トマスのことを覚えておられた主は、あなたのこともしっかりと覚えていてくださる。そのことを、直接主を見る

ことができないう時代に伝えるために、このできごとは福音書に書き残されました。復活が頭では分かっても、心が信じられないときがあります。また今もなお、恐れや不安が支配する場所があります。

しかし、主は「すべてが終わった」と誰もが思ったあの十字架の死から、起き上がったくださいました。「戸にはみな鍵をかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち」…私たちの理性や常識、恐れや孤独、固く閉ざされた扉、それをものともせずを超えて来て、私たちと出会うとしてくださる方が、確かに生きておられるのです。

その方こそ「わたしの」主、どこまでも私たちを追い求め、心に留めてくださるお方です。

大阪でのお泊まりは
ホテルザルター

ご予約は
ホテルザルター 検索

宗教学改革五〇周年に向けて
ルターの意義を
改めて考える(25)
ルター研究所所長
鈴木 浩

予定論はもともアウグスチヌスが初めて本格的に提示した教理であった。しかし、抜きがたい「運命論的響き」が理由になって、アウグスチヌスの死後一〇〇年経ったオランジュ教会会議で予定論は公式に断罪された。しかし、その後も急進的アウグスチヌス主義者が時々現れることになった。

アウグスチヌスには、もう一つ運命論的に響く教理があった。それが「原罪論」である。「人間は罪を犯さないことができない」とか「罪を犯す必然性」といった強い表現が原罪論の特徴であった。その後の西方教会の歴史では、この二つが重荷になっていた。いわば負の遺産だったのである。しかし、予定論は公式に断罪され、原罪論は骨抜きにされた。ルターが見るところ、それが中世神学の特質であった。こうして、二本の教理的棘が抜かれた「穏健なアウグスチヌス」が正統的伝統として継承されていった。

そうした伝統の中で、一六世紀にひととき急進的なアウグスチヌス主義者が現れた。ルターとカルヴァンである。ルターは骨抜きにされていた原罪論を強化し、カルヴァンは沈黙させられてきた予定論を復活させた。それが宗教学改革であった。

オルガン・コンサート
演奏 湯口依子
5月25日(日)午後3時
市ヶ谷教会礼拝堂
前売券 3000円 当日券 3500円



への補助金を五年後にはゼロにするという発言でした。内海議長個人のかつ非公式の発言であったのですが、日本福音ルーテル教会の公式の自給宣言と国内外に受け止められて行ったので

議長発言の重さを活かして

時代が少しさかのぼりますが、日本福音ルーテル教会の歴史の中に「アスマラ宣言」と呼ばれるものがありました。エチオピアのアスマラで開催された日本伝道に関する協議会で、当時の総会議長であった内海季秋牧師が、海外からの一般会計

す。一九六九年四月のことでした。帰国後に議長報告を聞いた常議員会は戸惑いを覚えたことでしょう。しかし教会運営の海外依存からの脱却という方向性がここに定まったので

策上の方向転換へと導くことがあつたのです。二年前の議長就任以来二回、パートナリーシップを持つ海外教会からの招待を受け訪問する機会がありました。いずれも重

とではありません。失言や勇み足の類で教会にご迷惑をおかけすることもあつたでしょうから、不意な発言は戒めなければならぬと肝に銘じています。

もつとも、「アスマラ宣言」のような大転換は念頭にありませんが、議長としての益するのであれば、それを大いに活かして行きたいと思つています。

日本福音ルーテル教会にとつての分岐点となつたこの歴史的出来事は、議長発言の重さを象徴するものでした。議長の個人的、かつ非公式の発言が、結果として重要な政

要な政策を協議するための訪問ではありませんでした。アスマラ宣言の出来事をどこかに意識しながらの旅でした。議長個人の、非公式の発言は、海外訪問時だけ影響を及ぼすというこ

トではありませんが、失言や勇み足の類で教会にご迷惑をおかけすることもあつたでしょうから、不意な発言は戒めなければならぬと肝に銘じています。

春の全国ティーンズ キャンプ報告

チャプレン 岡田薫

3月26(水)〜28日(金)にかけて、「以神伝信(いしんでんしん)」と題して、もキミを愛してる」というテーマのもと千葉市少年自然の家にて第21回春の全国ティーンズキャンプが開催されました。

あえて取り組み、苦悩しながら企画しました。グループディスカッションのテーマは「救いのイメージ」で「罪にならぬ?」「わたしたちは罪人?」「罪人を見る目、救おうとする神?」「救いと新しい歩み」と展開してゆきます。

の恵みのみという点です。この世の価値観の直中に生きるティーンズ世代にとつて、それとは全く違う神さまの視点に心を向けるという作業は難しかったかもしれません。それゆえに、心にもやまやしたものが残つてしまふ部分もあつたでしょう。しかし、彼らがいま感じていること、感じ始めたことがこれからの信仰の歩みの糧となる、と私は確信し、嬉しく思っています。ポスターに描かれているように、私たちは大いなるお方の御手の内にどんな時もしっかりと包まれているからです。

たがたは、恵みにより、信仰によつて救われまされた。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です(エフエソ2:8)を中心に、全国から集まった88名の参加者と33名のスタッフ、心と体と思いを尽くして信仰についての考察を深めました。

明らかな答えがあるわけであり、今回のプログラムで考えたことは、信仰とは私たちの努力や行いによるのではなく、神さま

最後にになりましたが、女性会連盟、ルーテル社団そして全国の教会の皆さまのご支援と祈りに心から感謝いたします。

ハンナ・ペンティエン 宣教師の紹介

1 ご自身について

私は、カルストラというフィンランド中部の5千人程の町の出身です。家族は両親の他、妹と弟二人がいます。専門は教会音楽で、ピアノ教師の資格もあります。シベリウス音楽大学を卒業後、いくつかの教会で教会音楽担当の職員をしていました。主としてオルガン奏者の仕事です。趣味は、読書、自然散歩や旅行です。

2 日本の教会の印象は? 今、市ヶ谷教会がオリエンテーション教会です。日本語は研修中なため、まだまだですが、同じルター派なので、礼拝ははいつていきやすかったです。市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだとの思いを新たにしています。

3 将来自らとしてどんな働きをしたいですか? 音楽は、天のみ神が教会に与えた賜物だと思つています。讃美歌は神への祈りでもあり、信仰の大事な事柄を覚えてくれます。礼拝音楽は、耳で聞いた御言葉を心で深くくれます。音楽が専門なので、音楽を用いて教会に新しい人を招く伝道を希望しています。フィンランドでは子供を対象にした音楽の教会活動もしていたので、同じことが出来るん、教会のオルガン奏者の育成も出来そうです。

4 ご自身の信仰について 私は、信仰ある家庭で育つたので、小さい時からお祈りすることや、聖書を読むことや、教会に通うことは自然でした。私を今あるものに造られた天のみ神は、本当に私を愛して下さい、イエス様を救い主と信じる信仰のゆえに 私の全ての罪を赦して下さい。イエス様こそ、私たちが命へ導いて下さる唯一の方です。彼こそが、私たちが困難にある時に世話をし、私たちの心に本当の平安を与えて下さいます。だから、彼のことをまだ知らない人たちに伝えたいのです。(吉村博明記)



知っているつもりで過ごしているのではないのでしょうか。今回キャンプ実行委員会はその部分に

力や行いによるのではなく、神さま



礼拝式文の改訂



式文委員会委員長 平岡仁子

！洗礼と洗礼盤

私の手元に1冊の小さな本があります。「古代から現代へ、洗礼盤を巡って」、著者はアニタ・スタウファー牧師（ELCA、LWF神学研究部門・2007年召天）。フィラデルフィアルテ



を検証しようとしたものでした。聖書には洗礼をイメージする表現が重層的に現れます。ロマ書6章3節〜6節では誕生・新しい命、死・葬りをヨハネ3章5節では水と霊による誕生をもたらす洗礼は子宮をイメージさせます。洗礼は誕生であり、そして洗礼盤は子宮のようです。ロマ書6章3節〜5節でパウロは洗礼に死と復活をイメージさせます。コリント6章11節やペトロ1章9節は罪の洗い・清めを、またペトロ13章20節では水の中を通過して救われることをイメージさせます。そしてこれら聖書から与えられるイメージは洗礼に関わる儀式の中で祈られる祈りの言葉に映し出されてきました。

「箱舟によって、あなたが選ばれたノアとその家族を救われ、再び人間を滅ぼさない」と約束されました。あなたは雲と火の柱によってイスラエルの民を海の中で導き守り、…あなたの愛する

み子はご自身の死と復活の洗礼によって、私たちを罪と死のなわめから解放し、…聖霊の力によって、私たちをあらゆる罪から清め、私たちに新しい命を賜り、私たちが日ごとに、私たちの洗礼の恵みを経験できるように導いてください。」

（イースターヴィジルの洗礼感謝の祈り）

そしてこのイメージはまた、洗礼の形式を作り出しました。下ること（死）と上ること（復活）、そして水を通りぬけること（救い）——洗礼におけるこの3つの動作は、洗礼の意味を不ず象徴的な行為となったのです。そしてその行為は洗礼盤そのものに反映されていくことになるのです。

20世紀の典礼刷新運動の流れの中で世界のキリスト教会は、改革の柱の一つである洗礼の儀式そのものが持っている豊かさをも、もう一度回復させようとしていくべきではないでしょうか。そこでこの世界の動向を受

け、改訂式文試案では各教会の洗礼盤にその意味を明確にする確かな場所を与えることを試みました。

保合教会では今年洗礼盤が完成しました。（写真！）日本を代表する陶芸家のお一人吉川正道氏が製作してくださいました。依頼する際、吉川正道氏にこの本に掲載されている紀元後4〜5世紀の古い洗礼盤の写真（写真！）をお見せしました。すると吉川氏は写真を見るなりうなづいて、叫ばれたのです。「すごい！洗礼は命そのもの。ここに命が躍動している！」



石田順朗著 『神の元気を取り次ぐ教会』の編集の手伝いをして 森 優

聖書は、物語でつづら

れています。正確には、物語が「語られ」ているので、物語はイエスさまとの出会いであり、その出会いの物語が語り伝えられているのです。聖書だけでなく、聖書を読むわたしたちにも、物語は起



キャンプ長 徳野昌博

今年で21回目となる「春の全国ティーンズキャンプ」、会場は広大な丘陵地帯にあり、施設周辺の木々や芝生はちょうど芽吹きその時期で、今もはじけそうでした。そんな早春を思わせる光景は、全国から集まったティーンズの秘めたるエネルギーとたぶつて感じられました。

今回のテーマは、「以神伝信くそれでもキミ

を愛してる」。その意図するところは、「神様によって信仰は伝えられる」と言うことで、信仰は神様からの恵み、愛の賜物であって、人間のわざ、人間が造り出すものではないということ。そして、神様が与えてくださる信仰を、賜物、プレゼントとして、感謝して、喜んで、そして、遠慮せず、恐れずにいただこうということ。スタッフは「手を変え、品を変え」ではありませんが、工夫して、苦勞して伝えようとしていました。そのための準備、打ち合わせにかけた時間は半端なものではないと思いを

ました。さらにキャンプ本番では、絶えざる軌道修正と臨機応変の微調整が必要になることは避けがたいわけですが、チームとしてまことに連携良く、見事にはまっています。

キャンプ、スタッフ合わせて120名からの大人数、大所帯でしたが、統率がとれて、まとまりのあるキャンプとして遂行されるのは、スタッフが心を一つに、がちりからでしょう。彼らは常に情熱的、精力的でした。それは、次代を担うティーンズへの愛であり、

期待であろうと思えます。その中心にチャプレンがおり、そしてディレクター、賛美リーダーがいて、さらにはリーダーに、直接向き合うグループリーダーがいるのです。このリーダーの多くは「春キャン」卒業生と言いますが、中高生の時代に自ら参加していた人たちです。信仰が継承され、その歴史が作られつつあるのです。

「春キャン」に集ったティーンズの中から、次代を担うべく、人材が必ずや現れることでしょう。

こります。

本書は、教会の物語と石田順朗先生の物語です。仏門の家庭に育ち、疎開先でキリスト教に出会い、さらに稀有の説教者に出会って、自分も説教者を目指す。胸が躍るような物語です。その物語を、ご自分で「語り」をしてくださったものです。それにしても、感涙にむせぶほどの説教の力。ここから、石田先生は、本書の中で「説教作法」を説きます。説教者だけでなく、説教を聞く会衆にも向けられた、神の力、神のエネルギー、すなわち「神の元気」

を受けるようにという圧倒的な気迫に満ちたものです。

手伝いをして、編集の手伝いというのは、膨大な原稿を、人々が買い求めやすい定価を設定し、その際のページ数に圧縮する作業です。本書の場合、多くの教会での説教がそのまま採録されていたものを、説教体を文章体にする。文体は著者の人格なので、傷つけないうようにする。用語の統一以上の集中が、いり

会暦の整備から聖書日課の誕生へという、初代教会以来、二千年にわたるキリスト教会の絶え間ない努力（物語）のことを知ったことです。

いまでも聖餐についての理解の違いから、聖餐式に教派によっていっしょにあずかることができません。一九九二年に発表された、カトリック教会と一五のプロテスタント諸派が共同で開発した『改訂共通聖書日課』を、日本福音ルーテル教会も整理して、二〇一六年から採用していくという流れを本書によって学

び、聖餐の一致はまだなくても、みことばの一致が実現するとう、新しい教会の時、新しい物語のはじまりを知るのです。

石田先生は、説教教会暦、聖書日課、礼拝と、教会の大きな物語の「語り」をここで実行されたのです。

『神の元気を取り次ぐ教会』、定価一、二〇〇円。お求めはファックスにて、リトン社へ、ファックス番号〇三・三三三・七六三八。

いちばんの喜びは、教

【2014年度 日本福音ルーテル教会 会議日程表】

月	日	曜	時間	会議名	場所
【2014年】					
4	28	月	14:00~	全国教師総会	宣教百年会堂
	29	火	~12:00	全国教師総会	宣教百年会堂
	29	火	12:30~14:30	25-8常議員会	宣教百年会堂
	29	火	15:00~	第26回全国総会	宣教百年会堂
5	30	水		第26回全国総会	宣教百年会堂
	1	木	~15:00	第26回全国総会	宣教百年会堂
(5/9, 5/13)				LCM会議 / 個別協議	市ヶ谷
6	9	月	14:00~21:00	26-1常議員会	市ヶ谷
	10	火	9:00~21:00	26-1常議員会	市ヶ谷
	11	水	9:00~12:00	26-1常議員会	市ヶ谷
7			3日間	第1回教区長会 (人事委員会)	
8	25	月	13:00~	るうてる法人会連合・全体研修会	熊本・九州学院
	26	火	~12:30	るうてる法人会連合・全体研修会	熊本・九州学院
9	30	火	10:00~18:30	宣教会議	市ヶ谷
10	1	水	9:00~16:00	宣教会議	市ヶ谷
	9	木	14:00~18:00	教師試験委員会	市ヶ谷
10/29 ~	10/31	水		新任教師研修会 (日キ連主催)	静岡県富士
11	4	火	14:00~21:00	26-2常議員会	市ヶ谷
	5	水	9:00~21:00	26-2常議員会	市ヶ谷
	6	木	9:00~12:00	26-2常議員会	市ヶ谷
	20	木		ルーテル4議長会議	NRK 飯田橋
12	-	-	-	-	-
【2015年】					
1	12	月	14:00~20:30	法人会連合推薦理事研修会	市ヶ谷
	14	水	13:00~18:00	教師試験委員会	市ヶ谷
	15	木	9:00~17:00	教師試験	市ヶ谷
	16	金	10:00~12:00	任用試験	市ヶ谷
2	12	木	9:00~21:00	会計監査 (~13日)	市ヶ谷
	18	水	14:00~21:00	26-3常議員会	市ヶ谷
	19	木	9:00~21:00	26-3常議員会	市ヶ谷
	20	金	9:00~12:00	26-3常議員会	市ヶ谷
	22	日		神学校の夕べ	宣教百年会堂
3	1	日	19:00~21:00	教職授任按手式	
	2	月	9:00~21:00	神学教育委員会	市ヶ谷
	4	水	9:00~18:00	新任教師研修会	市ヶ谷
	5	木	9:00~13:00	新任教師研修会	市ヶ谷
	21	土		教区総会	各教区

※「事務処理委員会」は、教会規則に基づき、処理すべき事項が発生した時に、随時、開催とする。



「豪快さと繊細さ」

山本 裕

戸田裕牧師・追悼
「あなたに向って両手を広げ、乾いた大地のよう
な私の魂を、あなたに向
けます」詩編143・6

2014年3月18日、戸田裕牧師が、天に召されたとの連絡を受けました。私が名古屋の病院に訪問したのが、10日位前でした。戸田先生と呼びかけても深く眠っていました。奥様が耳元で「山本裕先生がいらいらっしやいましたよ」と…。その時、少し、口元が動いたように見えた。しかし、彼に会ったのが、これが最後でした。児童伝道に従事していた彼が、召しを受け神学校に入りました。そして卒業後の任地は、静岡県焼津でした。遠洋漁港・焼津気質の豪快さと、彼の豪快さがマッチして、教会に多く集まりました。夕

食と一緒にして、教会の一室で、夜を徹して語りました。彼らの間に熱いものがありました。その彼らが今、各教会の中核となつています。彼はまた、東海教区の動きに深く関わりまわると、おいしい牛肉を持って車で走り、奥さまや子どもたちと、こやかに話し、そして牧師とは、また夜を徹して話し、支えました。伝道への熱情と真剣さ、そして優しさは、多くの人に力を与えました。アメリカでの伝道も、ご家族にとつて

は、大変だったと思いますが、帰国後は、名古屋の復活教会での働きがなされました。「名前の字も、読み方も、全く同じ私たち」…。互いに祈り、支え合い、語り合った、信頼の同労者でした。主イエスへの熱い思いを「豪快さと繊細さ」で、持ち続けた彼の大きな声が、今も聞こえてきます。そして、彼を支え続けた奥様に、心から感謝します。子どもさんの上に神さまの祝福が、ゆたかにありますように。

東地域教師会「春の研修会」

大岡山教会 松岡俊一郎

去る3月10日(月)、東地域教師会「春の研修会」が東京教会を会場に開催されました。ご案内が遅かったにもかかわらず、18名の牧師たちが参加しました。

今年引退教師の石田順朗牧師を迎え、「感謝のみ、教会生活還暦を迎えよう」と題してお話を伺いました。

先生は長い牧会での経験と学び、ルーテル世界連盟神学研究局長、シカゴ・ルーテル神学大学院、日本ルーテル神学校、九州ルーテル学院での奉職の経験から生み出された多岐にわたる神学的課題を、ルーテル教会の五つの「聖書のみ、信仰のみ、恵みのみ、キリストのみ、神にのみ栄光」に「感謝のみ」を加え、整えて語られました。これは、先生が最近著された著書「神の元氣を取り次ぐ教会(LITHON、12000円+税)に基づくものです。石田先生のお話は、説教、地域会衆、教会暦と聖書日課、律法と福音をについて語られ、特に各個教会について「教会は、現

【2014年教区総会選出常議員】

	北海道	東	東海	西	九州
教区長	■日笠山吉之/2	■浅野直樹/2	■三浦知夫/1	■滝田浩之/2	■小泉基/1
副教区長	■坂本千歳/2	■徳野昌博/2	■鈴木英夫/2	■沼崎勇/2	■岩切雄太/1
書記	■坂本千歳/2	■李明生/1	■鈴木英夫/2	■沼崎勇/2	■岩切雄太/1
会計	□露木喜久雄/1 (札幌)	□中山格三郎/1 (武蔵野)	□黒野正信/1 (なごや恵)	□狩野俊明/2 (松江)	□山本光/1 (箱崎)
伝道	■坂本千歳/2	■佐藤和宏/2	■末竹十大/1	■永吉秀人/2	■角本浩/1
教育	□須藤清/2 (函館)	■松岡俊一郎/1	□櫻井隆/2 (栄光)	■室原康史/1	■立野泰博/1
社会	□大賀隆史/1 (札幌)	■小泉嗣/2	■内藤文子/1	■松本義宣/1	□内村公春/1 (大江)
財務	□大賀隆史/1	□菅田恵一郎/1 (藤が丘)		□池田育生/1 (松江)	□山本光/1
信徒常議員	□須藤清/2				□尾田明子/1 (室園)

実的には「そこに集合し、根付き、開かれた」地域教会であるとの主張を強調され、最後には、「有限は、無限のままで、無限を体現する」とのルター神学に触れるためである。(コリント後II四・七)と締めくくられ、「私たちキリスト信徒の器のままで、無限化(全知万能化)するのではなく、神の言葉(聖書)にとりつかれ、罪ゆるされ、義人となり、全能の神の御恵みと御恩寵が「いま、ここで」わが身に充溢し体現されるようになる。それは「わたしたちは、このようない、笑いあいました」

研修会後は、近所の韓国料理店で親睦の時をもちました。日頃は散らされて教会に取り組んでいる牧師たちが、おいしい料理に舌鼓を打ちながら語り合いました。